

## 駅のトイレが新しくなります

市は、若穂自治協の要望を受けて綿内駅、信濃川田駅のトイレを新築中で、3月末完成予定です。両駅は現在バス待合所として利用されていますが、これまでの男女共用・簡易水洗から男女別(車椅子利用可)の水洗に改善されます。



## 自治協のホームページを 全面リニューアルしました

リニューアルされたホームページは【若穂地区の紹介】【お知らせ】【ほんわかほ通信】【ほんわかほブログ】【若穂企業紹介】【思い出の屋代線】のページから構成され、自治協のスケジュール

(カレンダー)も新たに追加。【若穂地区の紹介】では若穂の文化財も紹介しています。若穂地区の情報源としてご活用ください。

<http://www.honwakaho.jp>

(「若穂自治協・ホームページ」でも検索 OK)

また、若穂地区関係では長野市若穂支所や商工会若穂支部、保科温泉、松代病院附属若穂病院、若穂中学校、湯〜ぱれあ、若穂有線、若穂体育館などもホームページを設けて情報発信しています。



## 『わかほの民話を聴く集い』

- とき 3月23日(日)午後1:30~
- ところ 長野市若穂支所2階
- 参加 どなたでもOK(無料)
- 演目



- ① 鬼の露地 (持者区)  
原作・語り→塚田良男(元若穂中教員) 絵→百瀬高雄
- ② 殿さま、馬おとし不動明王 (町区)  
原作・絵→百瀬高雄 語り→吉澤香代子+スタッフ
- ③ 錦ヶ池 (町川田区)  
原作→若穂由紀子 絵→富沢清 語り→田中喜美子
- ④ ジョンテン観音 (小出区)  
原作→中村哲夫 絵・語り→檜本茂治
- ⑤ 縁結びの木像道祖神 (山新田区)  
原作→青木貞元 絵・語り→戸井田孝雄 (敬称略)

## 自治協総会は4月25日(金)

- ◆時間 午後6:30~
- ◆ところ 長野市若穂支所2階

25年度の事業や決算の報告、26年度の事業計画や予算などを審議し、役員改選もおこないます。代議員(区長など)や来賓の皆さまへは別途ご案内しますが、ご出席願います。なお、総会ほどなたでも傍聴することができます。

## 区長会が決算総会でしめくり

今年度3回目となる区長総会(代表区長と自治区長)が、3月13日に若穂支所で開催されました。12ある代表区、38ある自治区の住民自治を支えていただいた皆さんです。大変ごろうさまでした。

◆ 3月1日付で配布した『子育て青少年会報(第4号)』の中で、「あひるっこクリスマス会」の執筆者(正)「中島美奈子」さんを(誤)「中島裕子」と誤って掲載しました。訂正してお詫びいたします。

# 長野市でジビエ 利用などを協議

## 中山間地域の連絡会

長野市の中山間地域13地区の住民自治協議会（自治協）などをつくる連絡会は25日、意見交換会を同市若穂支所で開いた。加藤久雄市長も出席。若穂地区にある食肉加工施設を見学した後、ジビエ（野生



加藤市長 奥中央を交えて意見交換する中山間地域の住民自治協議会の役員たち

鳥獣肉）の利用促進や耕作放棄地解消について話し合った。

西山地区の自治協側からは、若穂地区の食肉加工施設にイノシシなどを運ぶのは時間がかかるため、地元を整備するよう求める意見が相次いだ。穴を掘って捕獲したイノシシなどを埋める作業が大変とし、食肉を加工できる人材を養成するべきだ—とする意見も出た。

連絡会は2011年12月、中山間地域の課題や活性化について検討し、交流の促進を目的に設立した。これまで市が開催する住民自治協議会連絡会の終了後に懇談会を開いてきたが、各地区の実情を知る機会にしようと初めて単独で開催した。

加藤市長は「やる気がある地域に対し、食肉加工施設を2、3カ所は造ってもいい」との考えを示し、「長野はジビエがすごいぞというようになるよう、市も積極的に対応していく」と述べた。

ジビエで加藤市長「長野はジビエがすごいぞというようになるよう、市も積極的に対応していく」

—— 中山間地域連絡会が保科高岡区にある食肉加工施設を見学後、今後は協議 ——



### 保科川愛護で 知事表彰受ける

若穂中学校 PTA が、50年以上にわたって学校周辺の保科川の草刈りを続けてきたことが「道路河川愛護活動知事表彰」となったもので、去る2月に長野建設事務所を通じて橋本寿雄会長に感謝状が渡されました。若穂中学校は綿内・川田・保科の三村合併で若穂町立統合中として昭和37年(1962)に誕生し、現在の校舎は二代目。歴代 PTA の皆さま、ごろうさまです。

《第2回ながのとびっくラン in わかほ》のランナーは1330名

- 内訳は「ファミリーラン218名」「小中学生385名」「高校生一般727名」でした。
- 大会を裏方で支えていただいたボランティアは28団体・460名でした。
- 地域の皆さまには沿道での応援や寄付金(732, 838円)など多大なご協力を、また242の企業・団体・個人からも協賛いただきました。
- 第3回は今年10月26日開催予定です。若穂のビッグイベントになりました。



◆若穂自治協はこの2月から7年目。新市長が誕生したが、自治協を核とする長野市版“都市内分権”はさらに推進されることに◆当面する課題は、従来支所職員がサポートしてきた多くの団体事務の自治協移行。であればそれなりの人件費補助を、と要望しているがなかなか…◆順次移行を受け入れつつ、それに応じた組織・事業の見直しや事務局体制強化が必要。若穂は新たな段階を迎えた。



綿内温泉区にある温泉スタンド：。弱アルカリ性単純温泉で毎日多くの人が利用されています。（無料・市観光課管理）

いい湯だな